

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
著作権法応用特論 Applied Copyright Law		Z 327	1 単位	2 学期
科目分野		課程領域		
著作権		知的財産マネジメント専門科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
市村直也	-	メールアポイントにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)		
著作権法特論	M&Eコンテンツ法務特論 1、2	M&Eコンテンツ契約実務特論

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

著作権法の重要判例を素材として、著作権をめぐる最先端の議論について検討する。具体的な紛争の背景を理解し、当事者の主張及びそれに対する裁判所の判断を検討することを通じて、様々な視点から著作権制度を理解する。

第1回の講義において、判決の基本的な読み方・重要部分の見極め方等につき学習する。

第2回以降においては、事前に担当者毎に割り当てた裁判例につき発表してもらう。

発表後、全員でディスカッションをすることにより、判決内容(学説の対立・判例の立場等)につき理解を深める。

担当者以外の者も含め、全員が判決を読んできていることを前提にして講義は進められる。

なお、後記の「学習内容」は標準的なテーマを記載したものであり、実際に取り上げる学習テーマは受講生との希望等を聞いた上で決定する。

到達(修得)目標

情報化社会の進展に伴う著作権の裁判例・学説の展開を学習することにより、実社会において著作権法を活用できる力を身につける。

受講対象者

著作権法に関する基本的知識を有していることを前提として講義を行うので、著作権法特論を履修していることが望ましい。

履修上の注意事項やアドバイス

併せて、M&Eコンテンツ法務特論1、2とM&Eコンテンツ契約実務特論の履修も推奨する。

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案	○	Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力		X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	○
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

ブラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	第2回～第8回 レポート発表	演習	

評価の方法

(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・授業貢献度	30%	毎回、事務局より出席簿を準備する。授業貢献度は、授業内における適切な質疑応答を評価するものである。また、発言は、発表その他ディベート等における適切な発言を評価する。最終レポートは授業全体の理解度を確認するものである。
発言	30%	
レポート・発表	40%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	特になし	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	中山信弘「著作権法」(有斐閣)、 田村善之「著作権法概説」(有斐閣)、 島並良ほか「著作権法入門」(有斐閣) 高林龍「標準著作権法」(有斐閣)	判例研究の際に参照できる、 基本的な教科書 (いずれでも可)
参考URL		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1	ガイダンス(講義進行の説明) 著作権と所有権	裁判例の読み込み (事前に指示)	市村	90分
	イベント			
2	著作物性1(アイディアと表現)	裁判例の読み込み・発表準備	市村	90分
	イベント			
3	著作物性2(創作性)	裁判例の読み込み・発表準備	市村	90分
	イベント			
4	著作者(職務著作、共同著作、映画の著作物の著作者)	裁判例の読み込み・発表準備	市村	90分
	イベント			
5	著作権侵害1(実質的同一性)	裁判例の読み込み・発表準備	市村	90分
	イベント			
6	著作権侵害2(著作権の制限)	裁判例の読み込み・発表準備	市村	90分
	イベント			
7	著作権侵害3(侵害関与者の責任)	裁判例の読み込み・発表準備	市村	90分
	イベント			
8	著作権の周辺(著作者人格権・パブリシティの権利・不法行為)	裁判例の読み込み・発表準備	市村	90分
	イベント			

- ※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。